

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	きららの理念「この住み慣れた吾平の地で同じ想いで、あなたの生活を支え教えていただく事を大切に共に過ごさせて下さい」を事務所や廊下の壁に提示して、ケア業務の指針として確認して職員が実践できるように努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年2回の地域の奉仕作業に参加したり、吾平町の文化祭に、利用者様とスタッフが一緒に手作りした干支のちぎり絵を展示したりして地域の皆様との交流を図っています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々との交流を図る為、鹿屋市や施設等が開催する催し等に参加するように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はコロナ禍の為書面開催になっていますが、地域の方等に意見や助言を頂いて、きらら内で検討してケア業務の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告書等の提出や介護保険等の書類の不明な点を市町村担当者に確認を行い指導して頂き協力関係を築けるように努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎年、おさしおグループ内にて行われる身体拘束の勉強会や研修等に参加しており、勉強会等での身体拘束の情報等をきらら内においても共有して日々のケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部の研修会やおさしおグループ内での勉強会等に参加して高齢者虐待防止法等について学び、きらら内のミーティングにおいてスタッフ間で情報を共有して虐待事案を起こさないように防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修等が開催された時には積極的に参加して内容について学び、それらを施設や地域等において活用できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前や入居時にご家族に各契約等について説明を行い、不明な点等があればご家族が納得できるように説明を行い理解を得ています。ご家族からの質問等については随時対応しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様からの運営に関する意見やクレームは、苦情窓口を表示、設置して受け付けております。利用者様には日常の生活や会話の中で把握するように努めております。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング等において運営に関する意見や提案の提示があった時には職員間で共有しケア業務に活かしています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務表を作成する前に職員から休日の希望や意見等を確認して、日勤・夜勤のローテーションを調整しています。職員の緊急の休みにも職員間で連携をとりながら対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症等に関する外部研修や内部研修に参加して、スタッフに研修内容を伝えることにより、スタッフ間にて共有してケア業務の質の向上に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>併設の事業所の研修会や交流会に参加して情報交換を行い情報等をスタッフ間で共有してケア能力の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様が入居される前に事前に面会を行い、本人に話を伺って意向等を確認してきらかに不安なく安心して過ごせるように関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用者様が入居される前に事前に面会や電話等にてご家族の要望や思い等を確認してご家族様がきらかに安心して委託して頂けるように関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様の入居後、本人の意向等を確認してから行動や表情を観察し、本人に合ったサービスを検討してスタッフ間で情報を共有しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様との信頼関係を築くためにスタッフはご利用者様の話を傾聴し本人の思いや要望に共感し寄り添ったケアを心がけるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様とは、ご利用者様の近況や生活状態を定期的に連絡して、必要時にはご家族様の協力を頂きながら共に本人を支えるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様との会話の中において馴染みの方の情報を確認して訪問等があった場合には、ゆっくりと話す環境を整えて、再度訪問して頂くようお願いするように努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様がホールで過ごされたり、行事や催し物の際には、ご利用者様同士がふれあい、馴染みの関係になるような環境の整備の努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族様等に適宜に連絡を行いご利用者様の現況等の確認を行っています。他施設への移動時には情報提供を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前にご利用者や御家族様に思いや意向の確認を行い、入居後には利用者様の話を傾聴し、本人の意向や思いに沿うような暮らしを送ることができるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に利用者様や御家族様や関係者等からこれまでの暮らしの様々な情報の聞き取りや情報の提供を頂いて、生活歴や生活状況の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	きららにおいてのご利用者様の生活状況や身体の変化等の観察を行い、本人のペースで過ごせるように残存機能等の情報の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の現状のアセスメントやモニタリングを定期的に行い、ご利用者様、ご家族様、スタッフ等にて検討、意見交換を行った後、介護計画を作成しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活状況や状態の変化等を介護記録に記入し、情報をスタッフ間で共有しています。又気づいた点や改善点があればスタッフ間で協議して実践等に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者の状態の変化等により必要なニーズが発生した場合には、その都度、スタッフや関係者とニーズの対応策を検討して実践しています。又、必要時には家族に相談してご利用者に適切なサービス検討、実践に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々との交流を通して、地域資源の情報の収集を行って、ご利用者に有益な地域資源を見つけ出せるように努めており、ご利用様が充実した生活を支援できるように努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医が月2回訪問診療を行っており、ご利用者の希望があれば、ご家族様と連絡をとって、都度かかりつけ医に相談して他科受診等の必要な受診を受けられるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>身体状態の異変時や事故発生時には母体医療機関の看護師に相談、連携をとって速やかに対応できるように努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には病院の相談員等に情報を提供し、入院中は病状の経過等の情報を頂きながらご利用者様が安心して治療を行い、早期の退院に向けて連携をとっています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前にご利用者様とご家族様に重度化した時や終末期の方針の説明と確認を行い同意を頂いております。職員間でも緊急時の際の対応方法について検討しており、事案発生時には、都度対応しています。当ホームでは見取りは行っていないので主治医や家族に相談しながら検討しています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルに沿って訓練を行っており、緊急対応時の確認を職員間で共有して急変や事故発生に備えています。緊急搬送時に救急隊に提示する情報カードを作成して保管も行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月定期的に災害時の避難訓練を実施しており、訓練時に避難方法や消防署への通報やきらら内での応援要請等の確認を職員間にて確認しています。併設事業所との合同訓練も定期的に行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	内部の勉強会や外部の研修等に参加して人権尊重の必要性を学び、職員間で情報を共有し、自己研鑽を職員に促して、ご利用者様の人格の尊重やプライバシーを損ねないような声かけができるように努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が話される事を傾聴し、本人の発言を否定せずに自分の思いや希望を発する事が出来るような声かけ等を行うように努めています。又、職員が誘導するのではなく、本人の意向を汲み取って自己決定を優先するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の体調や心身の状態を観察し、個別にケアの対応方法を検討して職員間で共有して、職員がその日の本人のペースに合わせて無理のないように過ごすことができるように声かけや見守りを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご利用者様の着替え時にはご希望される服等を選んで頂いて、その情報をスタッフ間で共有してご利用者様の希望に沿えるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ご利用様が食事を満足して摂って頂けるように食事の感想や食事を残された際の理由等の確認を行い、メニューや食事の盛り付け等に工夫をするように努めています。ご利用様に適切な食事量も観察を行い適宜対応しています。又、ご利用者様には食事前のテーブル拭きや下膳等の手伝いも頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量の確認と記録を行い、各人利用者様の必要な摂取量の把握に努め、摂取量が少ない時には声かけによる促しや提供方法や場所の検討を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各自のご利用者様の口腔ケアの状態に対応してできるご利用者様は声掛けにて誘導し、見守りを行い、口腔ケア後口腔内の確認を行っています。口腔ケアが自己にてできないご利用者様は職員が介助にて口腔ケアを対応して口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各自のご利用者様の排泄状況の確認を行って、各利用者様に合わせたトイレ誘導を行い、尿意・便意のないご利用者様は失禁等のないように定期的なトイレ誘導等を行っています。排泄時にはご利用者様のプライバシーに配慮しながら見守りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ご利用者様の排便の確認や記録を行い各人の排便の排泄パターンを職員間で共有して、摂取量の少ないご利用者様には日中での水分摂取を促しています。</p> <p>又、便秘の状態が継続する方は主治医に相談して処方薬にて対応しています。運動は定期的に体操等を行って体をできるだけ動かして頂くように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回実施しており、入浴前にご利用者の体調や意向の確認を行い各利用者様毎に対応しております。入浴時はゆっくり入って頂くように1対1にて対応しています。本人の希望等に提供できるように努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝食や昼食後にはご利用者が居室で休まれるのを希望された場合は、ゆっくりと休める環境を設定できるように努めています。又、体調不良時には職員が安静して頂く様に声かけを行い休息を促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の薬の処方に応じて適宜、服用しています。服用時には2名でご利用者の名前と薬の用法、容量を確認してから服用して頂いて、確実に薬を飲み込まれたかを都度確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯ものたたみやテーブル拭きや居室やホールの掃除等の生活リハビリや民謡や歌を聴いたり、それに合わせて踊られたりされる楽しめることをして頂き、身体や指先を動かすことにより脳の活性化や気分転換を図れるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>四季を感じて頂けるようにドライブや併設施設や地域の催し物に行ったり、ご利用者様の希望等により施設周りの散歩や散策を行っています。又、ご利用者様の意向により、ご家族様との外出を希望される時にはご家族様にご協力を頂きながらお手伝いを行っています。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご利用者様の意向があれば、ご家族様に相談を行って、お金を所持されています。本人様が使用される意向があれば職員の付き添いにて併設の売店に行かれて購入されたりすることもあり適宜対応しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご利用者様がご家族様等に電話をかけて声を聞きたいとの希望があれば職員が連絡を行い希望に沿うように努めています。又、手紙を書かれた際には職員が手紙を投函したり確認をとるよう努めています。本人が携帯電話を所持したい意向があればご家族様と相談して対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホール等の共用空間に季節が分かる花や展示物を飾ってご利用者様に季節を感じて頂くように努めています。又、照明や空調の調整を適時行って過ごしやすく居心地の良い空間造りに努めています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにおいて各ご利用者様の日常の表情や行動を観察して、各ご利用者様の性格や相性等により必要があれば、ホールでの座席やテーブルの位置を調整してご利用者様が気軽に交流や過ごすことができるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室はご利用様が1人でくつろいでゆったりと過ごすことが出来る空間ですので、ご利用様が慣れ親しんだ私物や家族写真などを御家族様に相談し持ってきていただいで居心地の良いリラックスできる空間作りに努めています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室毎にご利用様の名前を表示したり、トイレや入浴場が分かりように案内プレートを表示しています。各ご利用様が自己にて活動できやすいように、建物内部の環境整備や生活環境等の見守りを行うように努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない